

Veritas™ Cluster Server リリースノート

Solaris

5.0 Maintenance Pack 3



Veritas Cluster Server リリースノート

このマニュアルで説明するソフトウェアは、使用許諾契約に基づいて提供され、その内容に同意する場合にのみ使用することができます。

Product version:VCS 5.0 MP3

Document version:5.0MP3.0

法定通知

Copyright © 2008 Symantec Corporation. All rights reserved.

Symantec、Symantec ロゴ、Veritas Storage Foundation、Veritas は、Symantec Corporation または同社の米国およびその他の国における関連会社の商標または登録商標です。その他の会社名、製品名は各社の登録商標または商標です。

本製品には、特定のサードパーティ製ソフトウェアが配布、組み込み、または同梱されている場合があります。また、本製品のインストールおよび使用にともない、サードパーティ製ソフトウェアの使用を推奨する場合があります。同サードパーティ製ソフトウェアのライセンスは、著作権の所有者により別途付与されます。サードパーティのソフトウェアの使用に必要なライセンスおよび著作権に関する情報については、『Veritas Cluster Server 5.0 リリースノート』のサードパーティに関する章を参照してください。

『Veritas Cluster Server 5.0 Release Notes』(英語)は次の URL で参照できます。

Solaris SPARC: <http://entsupport.symantec.com/docs/283867>

Solaris x64: <http://entsupport.symantec.com/docs/289324>

本書に記載する製品は、使用、コピー、頒布、逆コンパイルおよびリバース・エンジニアリングを制限するライセンスに基づいて頒布されています。Symantec Corporation からの書面による許可なく本書を複製することはできません。

Symantec Corporation が提供する技術文書は Symantec Corporation の著作物であり、Symantec Corporation が保有するものです。保証の免責: 技術文書は現状有姿で提供され、Symantec Corporation はその正確性や使用について何ら保証いたしません。技術文書またはこれに記載される情報はお客様の責任にてご使用ください。本書には、技術的な誤りやその他不正確な点を含んでいる可能性があります。Symantec は事前の通知なく本書を変更する権利を留保します。

ライセンス対象ソフトウェアおよび資料は、FAR 12.212 の規定によって商業用コンピュータソフトウェアとみなされ、場合に応じて、FAR 52.227-19 「Commercial Computer Licensed Software - Restricted Rights」、DFARS 227.7202 「Rights in Commercial Computer Licensed Software or Commercial Computer Licensed Software Documentation」、その後継規制の規定により制限された権利の対象となります。

Symantec Corporation
20330 Stevens Creek Blvd.
Cupertino, CA 95014

<http://www.symantec.com>

テクニカルサポート

ご購入先にお問い合わせください。

リリースノート

この文書では以下の項目について説明しています。

- はじめに
- [Veritas Cluster Server](#) について
- このリリースで導入された変更点
- [VCS 5.0 MP1](#) で導入された変更点
- [VCS 5.0](#) で導入された機能
- [VCS のシステム必要条件](#)
- [サポート対象外](#)
- [解決した問題](#)
- [既知の問題](#)
- [ソフトウェアの制限事項](#)
- [VCS マニュアル](#)

はじめに

このマニュアルには、Solaris 対応の Veritas Cluster Server (VCS) バージョン 5.0 Maintenance Pack 3 に関する重要な情報が記載されています。VCS をインストールまたはアップグレードする前に、このマニュアルをすべてお読みください。

リリースノートに記載された情報は、VCS の製品マニュアルに記載の情報に優先します。

このリリースのアップデート、パッチ、ソフトウェアの問題に関する最新の情報は、次のシマンテック社エンタープライズサポート Web サイトの TechNote (技術情報) を参照してください。

Solaris SPARC: <http://entsupport.symantec.com/docs/281987>

Solaris x64: <http://entsupport.symantec.com/docs/286955>

TechNote に示されているリンクから、『Veritas Cluster Server リリースノート』の最新バージョンをダウンロードできます。

Veritas Cluster Server について

シマンテック社の Veritas™ Cluster Server (VCS) は、異機種混在環境においてダウンタイムを排除し、サーバー統合とフェールオーバーを容易にし、さまざまなアプリケーションを効率的に管理することのできるクラスタソリューションです。

VCS エージェントについて

VCS には、クラスタのキーリソースを管理するためのエージェントが付属しています。付属エージェントの実装と設定は、プラットフォームごとに異なります。

付属エージェントについて詳しくは『Veritas Cluster Server 付属エージェントリファレンスガイド』を参照してください。

Veritas High Availability Agent Pack により、サードパーティ製のストレージソリューションに高可用性を提供するエージェントにアクセスできます。Agent Pack に含まれるエージェント、開発中のエージェント、シマンテック社のコンサルティングサービスから入手できるエージェントについては、この製品の購入先にお問い合わせください。

VCS では、カスタムエージェントの作成が可能なフレームワークが提供されます。Veritas High Availability Agent Pack、付属エージェント、エンタープライズアプリケーションのエージェントがニーズに合っていないときに、エージェントを作成してください。また、シマンテック社のコンサルティングサービスを通して、カスタムエージェントもご要望いただけます。

カスタムエージェントの作成について詳しくは『Veritas Cluster Server エージェント開発者ガイド』を参照してください。

VCS では、キーエンタープライズアプリケーションを管理するためのエージェントも提供しています。VCS でエンタープライズエージェントを設定する前に、そのエージェントがサポート対象のバージョンであることを確認してください。

p.27 の「サポートされる VCS エージェント」を参照してください。

カスタムエージェントのコンパイルについて

C++ で開発されたカスタムエージェントは、Forte Developer 6 コンパイラを使ってコンパイルする必要があります。libvcsagfw.so in usr/lib のレイアウトは次のとおりです。

```
/usr/lib/libvcsagfw.so --> . /libvcsagfw.so.2
```

古いコンパイラでコンパイルされたカスタムエージェントを使うと、VCS 5.0 でそのエージェントが機能しない場合があります。カスタムエージェントでスクリプトを使う場合は、ScriptAgent へのリンクを継続します。VCS 5.0 用に作成されたエージェントでは、Script50Agent を使います。

このリリースで導入された変更点

ここでは、VCS の今回のリリースで導入された変更点について説明します。

LDom のサポート

Veritas Cluster Server (VCS) を使うと、Sun Microsystems Logical Domain (LDom) の高可用性が確保されます。VCS を使って、LDoms とそのストレージとスイッチを監視できます。いずれかのコンポーネント (リソース) が停止すると、VCS では LDom とそのすべての依存リソースを実行中のノードに移動できます。

『Veritas Storage Foundation and High Availability Solutions Application Note: Support for Logical Domains』を参照してください。

LDom エージェントについて、詳しくは『Veritas Cluster Server 付属エージェントリファレンスガイド』を参照してください。

ZFS ストレージプールのサポート

Sun の ZFS ファイルシステムの出現によって、シマンテック社は Zpool エージェントを提供するようになりました。Zpool および Mount エージェントを使うと、SPARC と x64 用 Solaris 10 で ZFS ストレージプールを管理できます。

『Veritas Cluster Server 付属エージェントリファレンスガイド』を参照してください。

クラスタ管理コンソール 5.0 の変更点

SFHA 5.0 MP3 ではクラスタ管理コンソール 5.0 に関して次の変更が行われました。

- SFHA 5.0 MP3 では、クラスタ管理コンソール 5.0 用の管理サーバーを新たにインストールすることはサポートしません。VCS 管理コンソール 5.1 の管理サーバーをインストールすることを推奨します。
p.8 の「[VCS 管理コンソール 5.1](#)」を参照してください。
- VCS 5.0 MP3 を初めてインストールする場合、インストーラはクラスタ管理コンソール 5.0 のクラスタコネクタと単一のクラスタ管理コンソールコンポーネントを VCS パッケージのオプションの一部としてインストールします。ただし、インストーラにはこれらのコンポーネントを設定するためのオプションは用意されていません。

クラスタ管理コンソール 5.0 の管理サーバーがすでにある場合は、直接接続を使って新しく設定した VCS 5.0 MP3 クラスタを管理できます。VCS 管理コンソールの最新バージョンである 5.1 をインストール、設定することを推奨します。

p.8 の「[VCS 管理コンソール 5.1](#)」を参照してください。

- VCS を 5.0 MP3 にアップグレードする場合に、クラスタの管理にクラスタ管理コンソール 5.0 を使用していたときは、VCS 5.0 MP3 でもクラスタ管理コンソール 5.0 を継続して使用することができます。

VCS 管理コンソール 5.1

このリリースのインストールメディアには、Veritas Cluster Server (VCS) 管理コンソール 5.1 も含まれています。VCS 管理コンソールは、以前はクラスタ管理コンソールと呼ばれていました。

VCS 管理コンソール 5.1 は、直接接続の方法を使って VCS 5.0 MP3 クラスタを管理できます。VCS 管理コンソール 5.1 のクラスタコネクタを VCS 5.0 MP3 クラスタ上にインストールすることもできます。

インストール、アップグレード、設定について詳しくは、『Veritas Cluster Server 管理コンソール実装ガイド』を参照してください。

VCS 管理コンソール 5.1 の更新とパッチについて詳しくは、<http://entsupport.symantec.com/docs/290657> にアクセスしてください。

VCS 管理コンソールの最新バージョンをダウンロードするには、www.symantec.com にアクセスし、Cluster Server のページに移動して、[Utilities] をクリックしてください。

Oracle 用の VCS エージェントの変更点

Oracle 用の Veritas Cluster Server エージェントでは、次の機能が新しく追加または拡張されています。

- Oracle 11g に対するサポート
p.27 の「[サポートされる VCS エージェント](#)」を参照してください。
- Oracle ASM に対するサポート
- 意図的なオフライン検出のサポート
- Oracle のホットバックアップ機能を使用中、起動オプションの 1 つとして CUSTOM の選択をサポート
- 診断監視が有効なときに csh シェルと tcsh シェルをサポート
- 新しい action エントリーポイント pfile.vfd をサポート

詳しくは『Veritas Cluster Server Agent for Oracle インストールおよび設定ガイド』を参照してください。

DB2 用の VCS エージェントが DB2 9.5 をサポート

Veritas Cluster Server Agent for DB2 が DB2 9.5 をサポートします。

p.27 の「サポートされる VCS エージェント」を参照してください。

詳しくは『Veritas Cluster Server Agent for DB2 インストールおよび設定ガイド』を参照してください。

属性の変更

このリリースでは、VCS 属性に関して次の変更が行われました。

- **AYATimeout** - VCS ハートビート属性
ハートビート属性 **AYATimeout** のデフォルト値が 300 秒から 30 秒に変更されました。[622413]
- **Preonline** - VCS サービスグループ属性
Preonline 属性がクラスタ内のノードに対してローカライズ可能になりました。[530440]
- **AutoFailOver** - VCS サービスグループ属性
キャンパスクラスタ内にシステムゾーンを設定した場合は、そのサービスグループをシステムゾーンを越えて手動でフェールオーバーできます。

詳しくは『Veritas Cluster Server ユーザーズガイド』を参照してください。

新規属性

このリリースでは次の新しいシステム属性が導入されました。

- **HostMonitor** - ホスト上のリソースの利用状況を監視します。
- **HostUtilization** - ホスト上のリソースの利用率を表示します。

このリリースでは次の新しいサービスグループ属性が導入されました。

- **PreSwitch** - 手動でのグループの切り替えに対応して、VCS エンジンがサービスグループを切り替えるかどうかを示します。
- **PreSwitching** - VCS エンジンがエージェントに対して **PreSwitch** 処理機能を起動するかどうかを示します。ただし、この処理機能は完成していません。

このリリースでは次の新しいリソースタイプレベルの属性が導入されました。

- **OfflineWaitLimit** - オフライン手順の完了後、リソースがオフラインになるまで待つ監視間隔の数を示します。リソースがオフラインになるまでの時間を長くするには、この属性の値を大きくします。

詳しくは『Veritas Cluster Server ユーザーズガイド』を参照してください。

